

令和元年度 田園の里 新田学園 学校評価書

【4段階評価】 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

◎ 本年度の重点目標 『児童生徒の確かな学力の向上 ～読解力を高めることを意識した相互参観の授業実践を通して～』を研究主題に、

学校の教育目標「夢や希望をもち、心豊かにともに伸びゆく新田の子どもの育成」に迫る。 小学部と中学部の総力を傾注して、地域に根ざした小中一貫校を創造する。

評価項目	評価指標	結果の考察・分析及び改善策	自己評定		学校関係者評価委員からのコメント
			指標別	総合	
笑顔と感動 の職員も児童生徒も笑顔で過ごせる学校	基本的生活習慣の確立	○挨拶について、児童生徒の評価と保護者の評価は同じ傾向にあり肯定的な評価が8割を超えている。校外的にもあいさつがよくできると評価をされている様子がわかる。反面職員の評価は依然として厳しく、挨拶3ヶ条の復唱を継続していきたい。 ○いじめ不登校・校内支援委員会を定期的の実施し情報の共有化に努められた。終礼でも児童生徒理解の時間を設定している。 ○8月に実施された「宮崎県いじめ問題子供サミット」に「風の会」の代表が参加し、「風の会」の取組を紹介した。また「新富町小中学校人権教育研究会」において人権集会を開くなど「風の会」の活動を校外に発信する機会を多くもてた。 ○OSCによるカウンセリングの結果を毎回学級担任と管理職フィードバックする時間を設定し、児童生徒対応の大きな一助となっている。また、2学期後半からSSWに中学部生徒の対応をお願いし、保護者と面談を行ったり、家庭訪問をしていたりできた。 ○年間を通してリフレッシュデーを設定できた。 ○ストレスチェックの結果を、全職員とのミーティングに活かすことができた。	3	4	○集団登校の集合場所でのあいさつが十分なかが気になります。 ○職員の評価が厳しいとありますが、あいさつ3ヶ条は職員自身ができているのかも大切です。あいさつは子どもが先にするものと思われていたら改善は望みません。 ○全体的に回答の中で「そう思わない」と答えた人の理由等が気になります。 ○あいさつは学校側よりその大切さを説いても家庭側で大切さを子どもにしっかり説いているかは疑問。 ○悩み相談等についてはまず子どもの話を聞いてもらえるか否かで、その時間がとれていることで肯定的にとらえることができます。ただし子どもが悩むそのことが親の悩みで、子どもの思いと親の思いは乖離するものと思いますので、調査結果は当然の回答と思われます。 ○あいさつ3ヶ条を自分たちで決めたというのが良いことだと思います。朝の登校時のあいさつしかわかりませんが、中学生のあいさつがよくできています。小学生は今ひとつ。 ○いじめ・不登校への取組はよくなされていると思います。大変でしょうが根気よく続けてほしいと思います。 ○リフレッシュデーは必要なことですね。先生方に余裕がないと子どもが見えませんが、 ○あいさつはよくできている。(特に小学生)中学生についてはややつきがある。 ○子どもたちののびのびと生活をしており学校に行くのが楽しみな様子であった。 ○全てのことに教師と生徒、教師と保護者、親子に温度差があることがかえります。厳しく接することも必要ですし、そうした中言葉を通じお互いの思いをぶつけ合うことで信頼関係を築いていくことが大切だなと感じます。 ○いじめに対する意識は高いと思うが、いろいろなニュースに敏感に反応しすぎて差別等にならないようにお願いしたい。
	いじめ防止と不登校への対応		4		
	時間管理と健康管理を意識した働き方改革の推進		3		
			4		
			4		
夢や希望 児童生徒が自分でできる生き方を	キャリア教育の推進	○「友達の良さに気づくことができますか」「自分には良いところがありますか」の問いに対して、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が9割近くおり、道徳や特別活動を通じた指導の結果を反映している。 ○地域について学ぶ学習に取り組んでおり、「地域の良さ」を知る機会は多い。反面家庭で地域の良さについて話す機会は少ないよう保護者同士、親子間で話をする機会を設ける必要がある。 ○「将来の夢や目標をもっている」児童生徒は低学年では9割を超えているが、学年が上がるごとにその割合が下がっている。より具体的な進路について学ぶ機会が増えるためと思われるが、「夢や希望」のある学校経営につなげるためにも発達段階に応じた指導を継続したい。	3	3	○自分の良さを保護者と共有できているといいと思います。 ○地域の良さを保護者に発信されているのかどうかを知りたいです。家庭で話す機会をもつ上で情報共有は大事だと考えます。 ○大変難しい作業の一つと思われます。個人々人をしっかり観察する時間等を始め余裕はあまりないと思われます。家庭では特に子どもに対し注意事の方が多く褒めて伸ばすということが後回しになっているのでは。地域についての学習はぜひお願いしたい。私たちの地区では「さのぼり」「グラウンドゴルフ」「敬老会」「夏休み子どもたちとのふれあい活動」などをやっています。子どもたちの参加も年々増えうれしく思っています。学校から「地区行事への積極的参加を！」の一言があるとまた違ってくると思います。 ○学習発表で地域のことをよく調べ、発表しており、よく取り組んでいたと思う。 ○親子、祖父母とよく会話し、「新田の良さ」を話し合うのも良いかもしれない。(昔のことならジイ、バアが得意) ○新田という環境も良く根強い地域性がありますが徐々に薄れていく現実も確かにあると思います。そうした中学校において、色々と学習の中に取り入れてくださっていることに感謝したいです。我々大人ももっと関心を深める必要がありますね。継続をお願いします。 ○地域の方々たふれあえる機会を作っていたらいいと思います。今後も継続をお願いしたい。大変有意義なことだと思います。
	地域について学ぶ機会の充実		4		
	進路や生き方、将来に対する夢や希望について考える機会の設定		3		
学力・体力の向上 力授・業体力・生徒指導力向上の取組により確かな学力・体力・生徒指導力向上の取組により確かな学力	確かな学力の向上	○諸テストにおいては全国平均や県平均と同程度を超えているが、教科によっては落ち込みも見られる。「授業がよくわかる」と答えた児童生徒が9割近くあり、職員の授業改善への取組が評価された結果だと思ふ。 ○読書に親しむ児童生徒は、学年が上がるごとに減少する傾向にある。それでも中学部で本に親しんでいる生徒は6割程度である。反面保護者の評価では、「家庭で本に親しんでいる」と「親しんでいない」の割合がほぼ半々であり、ファミリー読書への課題が残されている。 ○課題の提出状況は学年が上がるごとに良くなり、中学部ではほぼ9割5分の生徒が忘れがないと答えている。引き続き提出ができない児童生徒への指導を継続したい。 ○2年男子と3年女子が長座体前屈と握力の両方がTスコア50を超えている。反面1年男女は両方ともTスコアが50を超えておらず継続した体力向上に取り組んでいく。 ○「新田学園メディア使用の約束」を児童生徒総会で決定し、学校保健委員会などの機会を捉えて保護者にも啓発しているが、守れていない児童生徒が学年が上がるごとに増え、中学部では1割を超えている。引き続き家庭を巻き込んだ指導を継続していく。 ○リフレッシュデーの取組と合わせて、「新田学園部活動の基本方針」に則り適切な部活動の運営に努めることができた。	3	3	○その日の学習内容を自力で取り組める家庭学習へと発展させる取組をお願いしたい。 ○読書の推進の一つとして学年に応じた「読んで欲しい本の紹介」を学校からやってみてはどうでしょうか。 ○課題を提出しない、できない児童生徒は固定化しているのではありませんが、その児童生徒への具体的な指導をどのようにされているのか知りたいです。 ○児童生徒の発達特性として個別の支援を必要とする者への校内の支援体制として具体的な取組が確かな学力の定着および生き生きとした学校生活への安心感につながると感じます。是非とも支援を必要とする児童生徒への支援の充実をお願いしたい。 ○すでに取り入れられていることと察しますが、秋田県授業の徹底も一つの解消になるかと思われまふ。学力等に対して問題があるとは思いません。 ○学力の向上は先生方の授業改善への努力の成果だと思います。 ○以前は国語の時間に「図書の本借り」をしていましたが、今はそんな時間の余裕はないのでしよう。「読み聞かせ」はありがたい時間だと思ふ。 ○メディア使用はこれからの大きな課題ですね。 ○子どもも教師も「学校が楽しい」と思えるのが一番ではないでしょうか。そのための取組がいろいろなされているのがすばらしいと思ふ。今後ともよろしく願ひします。 ○本はぜひたくさん読んで欲しい。朝登校して「10分間読書」も一つの方法かもしれない。 ○自宅においてもファミリー読書に取り組んでほしい。 ○スマホの使用時間を、学校では夜10時までしか認めないとか、きちんと決めたららと長時間使用しないよう保護者にも啓発を強めてほしい。 ○読書、家庭学習、永遠のテーマです。やれる子どもは言わずとも、気持ちがない子どもは全く。提出すべきことは守るは全てのことに繋がっていくので、できない子への意識の改革は常日頃から願ひします。 ○働き方改革によって改善されてきていると思ふ。先生方の負担が少なく本来の子どもたちへの教育に専念できることを願っています。 ○新田学園は子どもが安心して登校できる学校であると思ひます。 ○家庭での過ごし方は大変大きな要因であると思ふ。家庭を巻き込んだ指導の継続をお願いしたい。
	読書環境の充実と読書の推進		2		
	家庭学習の充実		4		
	体力の向上		3		
	生活リズムの向上		3		
	効率的な部活動の運営		4		